

行政調査報告書「まちづくり特別委員会」

平成 27 年 10 月 21 日(水)～23 日(金)

■埼玉県狭山市「狭山市駅西口地区再開発事業について」

狭山市では、平成 3 年に市の総合振興計画に最重要施策として位置付け、狭山市駅西口地区再開発事業を施行した。市の玄関口として交通連結点機能を高めるとともに、市内を流れる入間川の河岸段丘の地形を生かした都市景観の創出を図ることをコンセプトとしていた。また、景観にも配慮し、駅前広場の西側にある緑豊かな市民広場、ライトアップによる夜の景観が良いことなどから平成 26 年度都市景観大賞において優秀賞・グッドデザイン賞を受賞している。中心市街地をどのように活性化させ、人口を増やしていくかが課題となっていた。

駅に隣接した市民交流センター、駅の東西又は南北を結ぶ自由通路、駅周辺の商業施設がある点は理想的と感じた。本市の主要駅周辺整備、自由通路、駅舎の橋上化などの整備を考える際の参考としたい。



■宮城県気仙沼市「赤岩港エコ水産加工団地プロジェクトについて」



東北地方太平洋沖地震による津波の被害を受けた東北地方沿岸部の漁港において、政府、自治体、民間事業者が一体となり取り組んだ事例である。電力を大量に消費する水産団地において、電力量の使用状況を監視・制御する工場エネルギーシステム（FEMS）と、団地全体のエネルギーを統合制御する地域エネルギー管理システム（CEMS）を導入し、地域全体で節電と電力料金の低減を図ることを狙いとしている。

本市においても、工業団地が予定されているため、FEMS や CEMS、新電力を導入し、環境にも配慮した調査研究を進めていきたい。

■静岡県富士市「富士市産業交流展示場『ふじさんめっせ』について」

ふじさんめっせは、大昭和製紙の野球場跡地の約 42,000 m²を利用し、新幹線新富士駅から徒歩 7 分、東名高速富士 IC から車で 11 分の立地条件を生かした 4,000 m²級の大展示場を有した施設であり、平成 20 年にオープンした。立地条件の良さ、地域に競合する施設がないこと、車で

の搬入のしやすさ、料金も手ごろであることなどから、日数稼働率は 80%を超え、リピーター率も 8 割を超えている。施設運営費は、3 年目から独立採算制となり、平成 23 年度からは収益が上がり、指定管理者から市に収益の半額を納めている。

本市は、新幹線駅や国道 1 号・23 号など交通基盤が確保されており、利用者となる企業が多いなど、立地条件はふじさんめっせに劣らないと考えられる。展示場整備には、土地取得を始め建設費の捻出、交通渋滞対策など課題も多いが、西三河の産業を牽引する施設となりうると考えるので、調査研究を進めていきたい。

